

ジビエ消費拡大の取組報告書

愛知県農林水産部農業振興課

1 目的

農作物被害防止対策を推進する中で、捕獲したイノシシとニホンジカの肉を地域資源として有効活用するため、継続して消費者に需要を喚起していく必要がある。

そこで、大消費地である名古屋市の中心部で開催される「ふるさと全国県人会まつり2016」にジビエのブースを開設し、「愛知産ジビエ」を使用した試食品を配布し、消費拡大を推進した。

2 出展したイベントの概要

- (1) 名 称 ふるさと全国県人会まつり2016
- (2) 日 時 平成28年9月10日(土)～11日(日)
午前9時30分から午後6時まで
- (3) 場 所 久屋大通公園久屋広場
名古屋市中区栄三丁目65番地
- (4) 主 催 ふるさと全国県人会まつり実行委員会
(全国県人会東海地区連絡協議会、読売新聞社、愛知県、
名古屋市、日本観光振興協会中部支部、愛知県観光協会、
名古屋観光コンベンションビューロー)
- (5) 後 援 岐阜県、三重県、名古屋商工会議所、中部経済連合会、
NHK名古屋放送局、メ〜テレ、中京テレビ放送
- (6) 協 賛 清水建設、JR東海
- (7) 協 力 キリンビール
- (8) 料 金 入場無料
- (9) 来場者数 約16万9,000人(10日8万4,000人、11日8万5,000人)

3 出展の内容

(1) 試食

愛知産ジビエのシカとイノシシの肉を湯通しした料理(以下、「しゃぶしゃぶ風」という。)の試食品を計720名分提供した。

9月10日には、堀井副知事がブースを訪れ、「しゃぶしゃぶ風」を試食。

(2) 鳥獣害対策の紹介

農作物への被害状況と対策および県内の獣肉処理施設について、ブース内のパネルで紹介した。

4 成果

ジビエブースを出展することにより、鳥獣被害対策の理解を促すとともに消費拡大についてPRをすることができた。

「しゃぶしゃぶ風」の試食は好評で、日頃、イノシシやシカの肉に接する機会が少ない消費者に、ジビエの食感や風味を体験してもらうことができた。

< 9月10日写真 >



堀井副知事が
「しゃぶしゃぶ風」を試食

< 9月11日写真 >



「しゃぶしゃぶ風」の提供